

# 売れる米づくり技術情報No.4

～なんかん米 光る粒張り 粒ぞろい～

令和7年6月19日  
JAえちご中越  
なんかん南営農センター

## 早生品種の穂肥時期が近づいてきました。幼穂長を確認して、 適期に適量の穂肥を施用しましょう！

### 1. 6月17日現在の水稻生育状況（なんかん南地区調査圃場平均：長岡地区指標値を使用）

- 両品種ともに指標に比べ、草丈やや短い、茎数少ない、葉数並、葉色並の状況。
- 田植時期、圃場により生育差が大きい。（コシヒカリ最多数値 草丈：40 cm 茎数：474 本/m<sup>2</sup>）

品種	草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			葉数 (葉)			葉色 (SPAD)		
	本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標	本年	前年	指標
コシヒカリ	35.1	43.4	37	286	422	400	8.0	8.9	8.2	40.6	40.6	41.0
こしいぶき	34.9	39.3	40	341	453	430	8.2	9.3	8.7	44.1	41.9	42.0

### 2. 幼穂形成期・出穂期予想と穂肥施用のめやす 【長岡地域振興局管内平年値による】

- 現状出穂期予想が出ていないため、平年値を記載しております。予想が発表され次第お知らせします。
- 1回目穂肥は遅れずに施用し、基肥一発肥料でも、葉色の低下がみられる場合は追肥を実施しましょう。

品種	幼穂形成期	出穂期	穂肥 1回目			穂肥 2回目		
			施用時期	出穂前日数	窒素量 (kg/10a)	施用時期	出穂前日数	窒素量 (kg/10a)
ゆきん子舞	6/29	7/22	6/27～6/29	25～23	3.0	7/8	14	2.0
つきあかり	6/29	7/22	6/27～6/29	25～23	2.5	7/8	14	2.5
こしいぶき	7/1	7/24	7/1	23	1.0	7/10	14	1.5
新潟次郎	6/23	7/16	6/21～6/23	25～23	3.0	7/2	14	3.0
わたぼうし	6/28	7/21	6/29～7/1	22～20	1.0～1.5	7/9～7/11	12～10	1.0～1.5

穂肥を多量に施用したり、時期が早すぎたりすると、初数過剰や登熟歩合の低下等が起こるため、適期に適量を施用しましょう。

コシヒカリ・こがねもちの幼穂形成期、出穂期については次号でお伝えします

◎品種・圃場ごとに生育差があるので **必ず幼穂長を確認して**

穂肥の施用時期を判断しましょう。

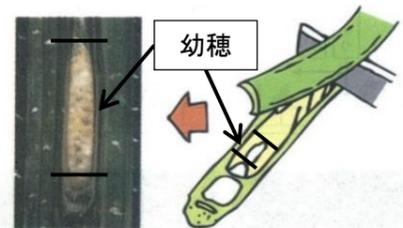
【幼穂長と出穂前日数の関係】

こしいぶき穂肥1回目のめやす

幼穂長(cm)	0.02	0.1	0.13	0.2	0.5～1.0	4.0～6.0
出穂前日数	30	24	23	20	18	12

【幼穂長の測り方】

- ①ほ場内の平均的な生育の稲を3株程度選ぶ。
- ②1株の中で、最も長い茎を株元から引き抜く。
- ③カッター等で茎を縦に割り、幼穂長を確認する。



### 3. 中干しと合わせ溝切り作業の実施をお願いします。

- 春先からの天候不順の影響でまだ中干しに入っていない圃場が多く見受けられます。6月からの好天で急速に残渣の腐熟が進みワキが発生しておりますので、**茎数が不足しているほ場でも早めに中干し作業を行ってください。**
- 中干し終了以降は、間断かん水から徐々に飽水管理へ移行しましょう。根腐れの発生につながるため、長期間にわたる湛水は避けましょう。
- 高温時の迅速な水回しや、排水能力向上の為に溝切りも合わせて実施しましょう。

### 4. 葉いもち防除の徹底と、病害虫対策をお願いします。

- わたぼうし、あきだわら、新之助等のいもち病に弱い品種、多肥栽培を行っている圃場では、圃場を見回っていもち病の早期発見に努め、病斑を見つけ次第防除しましょう。※補植苗の取り残しも確認しましょう。
- カメムシが増えにくい環境を作るために、雑草の種子が結実しない間隔で畦畔や農道等の草刈りを行いましょう。
- 必要に応じて中後期除草剤を散布し、ノビエ・ホタルイ等、水田内雑草の除草を徹底しましょう。
- 南地区内でイネミズゾウムシ、イネドロオイムシの食害被害が多く発生しております。被害が拡大すると生育が阻害され収量に影響を及ぼしますので適切な対応をお願いします。

【お問い合わせ先】 なんかん南営農センター米穀課 0258-61-2903

